

# 県解体工事業協組を表彰

## 地球環境を守る県民運動推進大会

### 環境保全に功績

長・三反園訓県知事は7日、鹿児島市の県庁で環境保全活動優秀団体として県解体工事業協同組合(吉丸義博理事長)が同運動推進大会を開いた。



表彰を受ける吉丸理事長(中央)と永田専務理事(右)＝鹿児島市の県庁で

同組合は、2007年度に「ふるさとの道サポーター」として認定。組合員約50人で年2回、産業道路周辺の歩道清掃や南港野積場内の不法投棄物回収を行っており、約10年にわたる継続した活動が表彰につながった。

薩摩川内市建設業協会(小園秀作会長)は2、3日、世界文化遺産に登録されている長崎市端島(通称・軍艦島)などの視察旅行を行った。研修の一環で2年ごとに開催。4回目となった今回は、青年部を含む19人が参加した。

### 歴史に触れ知見向上

#### 軍艦島を視察

日本最古のRC造高層アパートのほか、石積み工法による護岸などを視察。土木・建築それぞれが、専門職の見地から学んだ。

### 3000匹が完売

第11回川内川鮎まつりが4日、さつま町渡地区で盛大に開催され、町内外から訪れた多くの来場者でにぎわった。写真

### 鹿屋工高で就活応援キャラバン

#### 業界15社が魅力発信

県建設業協会主催の「校別企業ガイダンス」が6日、鹿屋市の鹿屋工業高校であった。



県内の工業高校や専門技術を有する高校を巡回し、地元企業への就職につなげてもらうと企画した。会場では、仕事内容や工事実績などを紹介したガイダンス。鹿屋市の鹿屋工業高校で

各社の採用担当者が建築科と土木科の3年生を対象に、会社の事業や仕事内容、工事実績などを紹介。生徒からは、福利厚生面や従業員同士の親睦を深めるための取り組みについて質問があった。

土木科3年生の中村裕也さんは「小学生のころから土木の仕事をしたかった」と思い、地元の建設会社に就職したいと語った。

南生グループ(南生建設(株)・ナンテック工業(株))、川北電工(株)堀之内工務店(株)錦城(株)コバルト技建(株)山佐産業(株)川畑瓦工業(株)森山組(株)野添組(株)肝付土建(株)徳澤建設(株)ヤマグチ(株)坂本建設(株)コアツ工業(株)小原鉄筋工業(株)

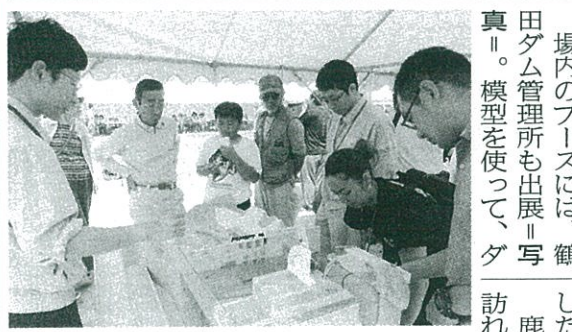


### 企業版ふるさと納税 マルタニ試工が寄付

マルタニ試工(町田邦夫社長・本社福岡市)は、南さつま市が内閣府から地域再生計画の認定を受け、企業版ふるさと納税の対象となった。「南さつま飛びたて高校生事業」に寄付の申請を行った。同社鹿屋支店

### 南さつま市「飛びたて高校生事業」

長東直巳氏と上舞三技術部長の故郷という縁もあり、同事業に賛同。このほど、本邦輝雄南さつま市長を表敬訪問した。



### ダム模型で有用性説明

鶴田ダム管理所 場内のブースには、鶴田ダム管理所も出展。写真。模型を使って、ダムが果たす役割や現在進める再開発事業を紹介したほか、防災パネルや非常食のサンプルなども展示し、その有用性を発信した。



日本初のRC造高層アパートを背に写真に納まる会員ら。長崎市の現地で

### 解説

端島は長崎港から約19kmの沖合いに浮かぶ南北約480m、東西約160m、周囲約1.2km(面積約6万3000㎡)の小さな海底炭鉱の島。護岸堤防の拡張を繰り返し、最盛期では約5300人もの人々が居住。限られた土地を生かすために、日本初のRC造高層アパートが次々に建てられ、その外観が軍艦「土佐」に似ていることから軍艦島と呼ばれるようになった。1974年1月に閉山し、同年4月から無人島になっている。



### 鶴田ダム管理所

組合の富澤満郎代表理事組合長が「この雄大な川内川を眺めながら、焼きたての鮎や地元食材を堪能してほしい」と挨拶。日高政勝町長や井上章三県議、九州地方整備局の坂元浩二川内川河川事務所長、川野晃鶴田ダム管理所長らが祝辞を述べた。

主催者によると、イベントは回を重ねるごとに来場者が増加。「官民一体となって取り組んできた成果が表れている」という。